

### 常任委員会の活動についてお知らせいたします



愛知県大府市



埼玉県志木市



群馬県前橋市

3常任委員会では、議員任期の1年目と3年目に道外先進地調査を行っております。

昨年は10月に実施しており、総務文教常任委員会は愛知県半田市、愛知県安城市、愛知県大府市を訪問しました。

生活福祉常任委員会は埼玉県所沢市、埼玉県志木市、東京都立川市を訪問しました。

経済建設常任委員会は茨城県牛久市、茨城県筑西市、群馬県前橋市を訪問しました。

調査報告書については江別市議会ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。



## 主な内容

- ◇ 第1回定例会の概要 ..... 2~3
- ◇ 一般質問 ..... 4~7
- ◇ 予算審査の概要 ..... 7~8

市議会ホームページ <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/>

ホームページでは議案等に対する各議員の賛否の状況や会議録など、議会の情報がご覧になれます。

また、江別市議会フェイスブックでも議会の最新情報を発信しておりますので、こちらも是非ご覧ください。

※ホームページをご覧にならない場合は、議会事務局(011-381-1051)までお問い合わせください。

江別市議会



障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。

【詳細】障がい福祉課障がい福祉係 ☎(011)381-1031

# 平成30年 第1回 定例会

## 条 例

第1回定例会は2月26日から3月23日まで26日間の会期で開かれました。新年度各会計予算を初め、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定などの議案36件、陳情4件、報告8件を議しました。

一般質問は6日から8日までの3日間行われ、10名の議員が市政全般にわたって市長等の見解をたしました。

議案と予算審査の内容についてお知らせします。

- ◎指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定  
介護保険法の一部改正により、居宅介護支援事業所の指定権限が都道府県から市町村に移譲されたことから、国の基準省令にのっとり、新たに条例を制定するものです。
- ◎特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正  
就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い、条文で引用している条項の整備を行うものです。
- ◎土地改良法に基づく市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正  
土地改良法の一部改正に伴い、条文で引用している条項の整備を行うものです。
- ◎特別工業地区建築条例の一部改正  
建築基準法の一部改正に伴い、条文で引用している条項の整備を行うものです。
- ◎市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正  
公職選挙法の一部改正に伴い、市議会議員の選挙における選挙運動用ビラの作成経費を公費負担の対象に含めるため、必要な改正を行うものです。
- ◎市職員の給与に関する条例等の一部改正  
人事院勧告に準拠して、医師を除く職員の給料月額を平均0.2%、勤勉手当を0.1月分、それぞれ引き上げるほか、一般職と同様に議員と特別職の期末手当を0.1月分引き上げるなど、必要な改正を行うものです。
- ◎国民健康保険条例の一部改正  
国民健康保険事業の運営が都道府県単位となることに伴い、北海道に納める国民健康保険事業費納付金の不足が見込まれることから、後期高齢者支援金等課税額と介護納付金課税額の税率を引き上げるなど、必要な改正を行うものです。
- ◎国民健康保険条例の一部改正  
国民健康保険法の一部改正により、これまで市町村に設置されていた国民健康保険運営協議会が都道府県にも設置されたことなどから、必要な整備を行うものです。
- ◎後期高齢者医療に関する条例及び重度心身障害者医療費助成条例の一部改正  
高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正により、住所地特例の適用を受けている国民健康保険の被保険者が後期高齢者医療制度に加入した場合に、この特例が引き続き適用されるよう見直されたことから、必要な改正を行うものです。
- ◎手数料条例の一部改正  
地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正により、消防法に基づく危険物製造所等の設置許可や完成検査前検査などに係る手数料が見直されたほか、建築基準法の一部改正により、用途地域に田園住居地域が追加されたことから、別表に規定している金額を整備するなど、必要な改正を行うものです。
- ◎児童福祉施設設置条例の一部改正  
えべつ・安心子育てプランに基づき、保育の提供体制と保育サービスの充実を図るため、よつば保育園の定員を140人から150人に拡大することに伴い、必要な改正を行うものです。
- ◎介護保険条例の一部改正  
65歳以上の市民が負担する介護保険料は、計画に沿って3年ごとに改定されます。基準額となる第5段階を6万720円から6万8千640円に引き上げるほか、保険料の段階を区分する所得基準額と段階を、国に準じて変更するなど、必要な改正を行うものです。
- ◎指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正  
30年度の介護報酬改定に合わせた地域密着型サービスなどに関する国の基準省令の一部改正に伴い、地域共生社会



の実現を図る観点から設けられた共生型地域密着型通所介護や看護小規模多機能型居宅介護のサテライト型の事業所の人員、設備等に関する基準を追加するほか、療養通所介護の利用定員を9人から18人に拡大するなど、必要な改正を行うものです。

### ◎普通河川管理条例の一部改正

### ◎準用河川流水占用料等徴収条例の一部改正

北海道の河川法施行条例の改正に合わせて、管の埋設や電柱の敷設などに係る土地占用料の単価を北海道の単価に合わせるほか、占用面積等の端数処理を少数点以下第2位までとするよう、必要な改正を行うものです。



新栄団地

### ◎市営住宅条例の一部改正

公営住宅法の一部改正により、市営住宅の家賃の決定に

係る入居者の収入申告義務が緩和され、認知症等で収入申告が困難な場合は、市が収入を把握した上で、家賃を決定できることとされたことから、必要な改正を行うものです。

### ◎都市公園条例の一部改正

都市公園法施行令の一部改正に伴い、都市公園に設ける運動施設の敷地面積割合の上限を定めるほか、市が管理する都市公園の使用料について、北海道の単価に合わせて改めるものです。

## 一般議案

### ◎財産の処分

市内の企業に対して、江別RTNパーク内の土地1万3千136・77㎡を5千409万4千円で売却するものです。

### ◎市道路線の認定及び変更

開発行為や道路整備事業等に伴い、新たに2路線を認定、2路線を変更した結果、市道総数は2千388路線、総延長は832・654kmとなりました。

### ◎市議会会議規則の一部改正

議会広報広聴委員会を地方自治法に定められた委員会と

して位置づけるため、必要な改正を行うものです。

## 人事

### ◎公平委員会委員の選任

◇菊地秀人氏の選任に同意。

## 予算

### ◎平成30年度各会計予算

一般会計のほか、4特別会計と3企業会計予算が可決されました。審査経過等は、7、8ページをごらんください。

### ◎平成29年度各会計補正予算

◎一般会計(第5号) 国等の予算動向による変更や緊急を要するものへの措置などにより、4億9千165万1千円を増額し、予算総額は、44億7千392万1千円になりました。

### ◎一般会計(第6号)

国の補正予算に伴う措置により、2千790万円を増額し、この結果、一般会計補正予算第5号と合わせて、予算総額は、447億182万1千円になりました。

### 一般会計補正予算(第5号)の概要

事業内容	補正額(千円)
基金積立金(前年度繰越金、土地売払収入、寄附金収入等による積立金の追加)	393,371
職員人件費(時間外勤務の縮減及び年度途中退職者・育休者に係る減額)	△62,440
教育・保育施設給付事業(人事院勧告に基づく公定価格の改定及び新たな処遇改善加算の創設に伴う追加)	79,981
生活扶助自立助長支援事業(医療扶助の決算見込みによる減額)	△63,077
江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画整理事業)(補助事業分)(国の補正予算に伴う追加)	234,720
その他(議員報酬等ほか計39事業)	△90,904
補正総額	491,651

### ◎国民健康保険特別会計

前年度の余剰金を基金へ積み立てるなど3億2千233万9千円を増額し、予算総額は、156億4千33万9千円になりました。

### ◎介護保険特別会計

介護保険制度の改正に伴うシステム改修により、218万6

千円を増額し、予算総額は、98億6千886万4千円になりました。

### ◎水道事業及び下水道事業会計

事業の確定や決算見込みなどにより、水道事業は総額で1億1千569万9千円を減額し、下水道事業は2億8千178万円を減額しました。

### ◎病院事業会計

給与条例改正等に伴い、給与費など、2千629万2千円を増額し、同額の材料費を減額するもので、予算総額は変わりません。

## 報告

### ◎専決処分

倒木による車両の物的損害に係る賠償について、相手方との示談が成立した旨報告されました。

### ◎江別振興公社、スポーツ振興財団、フラワーテクニカ

えべつ市の事業計画に関する書類

市が出資している公社や財団、株式会社の新年度事業計画が報告されました。

# 一般質問

今定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。各議員が行った質問の中から、紙面の都合上2項目を選び、要約して掲載しています。



ほんま けんいち  
本間 議員  
江別未来づくりの会

## 林木育種場旧庁舎の活用

**問** 北海道林木育種場旧庁舎の利活用に当たっての公募状況は。

**答** 旧庁舎の活用に向けて、土地と建物は長期無償貸与とし、施設整備は事業者が行うと定めるなど、建物全体での活用を公募要件としている。公募を開始した21年度から平成28年9月までに12件、その後新たに2件の問い合わせがあったが、建物全体での管理や補修が必要となるほか、建築基準法や消防法上の制約を受け、多額の改修費用が生じることから、正規の応募には至っていない状況である。

## 旧庁舎の利活用の見込み

**問** 北海道林木育種場旧庁舎の利活用に向けて、どのよう



北海道林木育種場旧庁舎

なアプローチを行ったのか。

**答** 旧庁舎の公募は、期限を設けず募集を継続しており、自然豊かな立地をアピールするため、建物上空から撮影した写真や風景動画の閲覧用QRコードを掲載したパンフレットを作成し、民間事業者へのPRに活用したほか、ホームページにも掲載している。現在、情報系企業や金融系企業に活用を検討いただいているところであり、今後も利活用の働きかけを行っていくほか、公募条件の見直しについても、できるだけ早く結論を出したいと考えている。

## 道立高等養護学校誘致



おかむら しげみ  
岡村 議員  
民主・市民の会

**問** 市が誘致を進めている道立高等養護学校を、全道におけるモデル校とするための取り組みが必要では。

**答** 共生のまちの実現を目指す江別版生涯活躍のまち構想の整備に着手することは、同校のモデル校化を後押しするための環境整備を進める方策の一つと考えている。

同校の誘致は旧北海道札幌盲学校跡地の一部を活用するため、必要な標準的面積を除いた余剰地の取得意向について道から照会が来ている。今後道と相談、協議しながら方向性について検討していきたい。

## 自治会館等の公的施設化

**問** 自治会館等を地域の拠点施設と位置づけ、市として環境を整える考えは。

**答** 市では、自治会が所有・管理する自治会館は地域コミュニティ活動の拠点として重要と認識しており、施設の

運営経費や修繕費用の一部を補助している。

自治会への融資制度など新たな支援方法については、個別に相談を受け対応するとともに、ほかにどのような支援ができるのか他市の制度などを調査し、検討していきたい。



そま よしか  
相馬 議員  
公明党

## 除排雪車両へのGPS搭載

**問** 除排雪車両へのGPS搭載について事例研究を進めてはどうか。

**答** 除排雪車両へのGPSの搭載は、最適なシステムの選択や、費用面等の課題はあるが、リアルタイムで除排雪車両の位置を把握できるため、除排雪状況の管理等のメリットがあると認識している。今後は、先進地における事例の収集を行うとともに、調査・研究を行っていきたい。

## 断熱マンホールぶた

**問** 断熱マンホールぶたについて先進地の取り組みをどのように取り入れていくのか。

**答** 札幌市では、28年度から断熱ぶたの設置数拡大を目的とした研究を、民間企業と共同で行っており、市としてもその開発結果に注目してきたところである。29年度の研究成果として、一定の断熱性を持った、安価な製品を実用化したと伺っており、当市でも採用が可能か、費用対効果も含めて具体的に検討していきたいと考えている。

また、今後も他市の状況や、民間企業による新たな製品開発の動向について、情報収集に努めたい。

このほか、母子生活支援、特定健診などについて質問がありました。



たかはし のりこ  
高橋 議員  
日本共産党  
議員団

## 生活保護基準の変更

**問** 生活保護基準の変更に伴う市の施策への影響と、引き下げの影響が及ばないよう対策を講じる考えは。

**答** 一般の生活保護基準の見直しは、平成30年10月から実施が予定されており、同基準を用いた事業については、で

ざる限り各制度の趣旨や目的、実態を考慮し、影響が及ばないように対応する方針が国から示されたところである。

しかしながら、国から具体的な内容が示されておらず、今後、国の示した方針に従い、市民生活に影響が及ばないような配慮が必要と考えている。

### 労働契約の無期転換ルール

**問** 有期労働契約で働く市民の権利を守るために、無期転換ルールの市民への周知と対応についてどう考えるか。

**答** 無期転換ルールとは、労働契約法改正により平成25年4月1日から、有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたときは、労働者の申し出により期間の定めのない労働契約に転換できるものである。市では、広報えべつ3月号やホームページに掲載するとともに、北海道労働局の無期転換ルール緊急相談ダイヤルを案内しているところである。

なお、現在のところ市民からの問い合わせや相談はないが、今後相談があった場合は、各窓口と連携の上、適切に対応していきたい。

このほか、北海道地域医療構想、環太平洋パートナーシップ協定に関する対応について質問がありました。



山田 重明 議員  
市民クラブ

### 幼児教育・保育の環境整備

**問** 待機児童問題を含めた幼児教育・保育の環境整備について、市の現状は。

**答** 保育需要の高まりへの対応や、就業と子育ての両立支援のため、25年度から5年間で279名の保育の提供体制を拡大してきたが、昨年10月1日現在、潜在的待機を含め157名の待機児童が発生している。今年度は、江別市子ども子育て支援事業計画の中間見直しを行ったところであり、幼児教育・保育の提供体制の充実を図らなければならないものと認識している。

### 市立病院のあり方

**問** 現在の市立病院の経営状況から、診療体制や経営形態を見直す必要があるのでは。

**答** これまで市立病院では、

収益増加策を柱として経営改善に取り組んできたが、現在は公営企業法の原点に立ち返り、収入に見合った経費で運営することを基本に考えていきたい。

これまで実施してきた収益増加策の効果や収支悪化の状況を十分分析するほか、国の30年度の診療報酬改定の影響を見きわめつつ、診療体制の見直しも含め、抜本的な経営改善を進めていかなければならないものと考えている。

このほか、住宅取得支援事業、道徳教育について質問がありました。



山本 由美子 議員  
市民クラブ

### えみくるへの交通アクセス

**問** 都市と農村の交流センター「えみくる」への交通手段を整備するべきでは。

**答** 都市と農村の交流センター「えみくる」は、市の農業の特性を生かした農産加工やグリーン・ツーリズムなどの取り組みを推進する目的で江北地区に設置された施設であり、マイカーによる利用を想定し

ていたところである。

都市と農村の交流を促進する上で交通アクセスの利便性は重要であると考えることから、今後は、イベントの際に主催者側で送迎バス等の運行を検討していただけるよう、指定管理者と協力しながらお願いしていきたい。



都市と農村の交流センター「えみくる」

### 高齢者の交通環境

**問** 高齢者の社会参加や買い物のための交通体系をどのように考えるか。

**答** 市では、公共交通の利用が不便な地域における高齢者の移動手段を確保するため、江北地区と豊幌地区においてそれぞれの実情に見合った新たな交通手段の導入可能性について、地元協議会と協議し

ているところである。

持続可能な公共交通の形成を推進するため、江別市地域公共交通活性化協議会において、地域公共交通網形成計画の策定に向けた協議を進めており、高齢者の移動等の支援についても検討する施策として盛り込む予定であることから、引き続き同協議会で協議していきたい。



堀内 直人 議員  
江別の会

### 任期付幹部職員制度の導入

**問** 今までにない発想や技術を市政に取り入れる手法として、任期付幹部職員制度を導入してはどうか。

**答** この制度は、即戦力となる専門職を確保することで、さまざまな行政課題を、一定期間で解決するために有効と考えられる一方、処遇面のあり方など、十分な検討が必要と言われている。

市ではこれまで、適材適所の職員配置のほか、民間企業等との交流、社会人の採用等により、知識や経験のある職員の確保に努めてきた。また、

国が掲げる働き方改革では、ライフステージにあった多様な働き方を可能とする取り組みを進めることとされており、今後は限られた人材をいかに有効に活用するか検討する時期に来ていると考えている。

引き続き、多様な人材を確保するためのさまざまな手法について、検討していきたい。

**職員の仕事への市民理解**

**問** 職員の仕事に対する市民理解を深めることが重要と考えるが、目指す職員像を記した江別市人材育成基本方針等を市民へ公開してはどうか。

**答** 市ではこれまで、職員の地域活動への参加促進や特定の課題に対する市民向け説明会の実施などを通して、さまざまな形で市政情報の提供や相互の情報共有を図っており、職員の仕事に対する市民の理解を深めることがまちづくりを進める上で重要であると認識している。

当市の人材育成基本方針の公開については、これまで職員向けに周知してきたが、今後は市のホームページ上で公表したい。

このほか、第6次江別市総合計画画について質問がありました。



**健康づくりの推進**

**問** 市民の野菜摂取量をふやすための具体的な取り組みについて、市の考えは。

**答** 市の国民健康保険の分析で生活習慣に起因する疾患が多いことから、生活習慣病予防に効果がある野菜摂取の推進を図りたいと考えており、野菜の簡単レシピなどの募集や紹介、飲食店による野菜メニューの推奨など事業者と連携した啓発等について検討している。

また、幼少期からの生活習慣が重要なことから、栄養教諭による食の指導や保健師による生活習慣病予防教室においても野菜の大切さを啓発したいと考えているほか、庁内各部や関係機関等と連携しながら、野菜を食べる環境づくりを進め、食からの健康づくりを目指したい。

**若い世代の婚活支援**

**問** 男女の出会いの場づくり支援事業の、これまでの取り組みと成果は。

**答** この事業は晩婚化・晩産化の解消に向け、若い世代の婚活を支援するとともに、まちの魅力を効果的にPRし、交流・定住人口の増加を図ることを目的に、男女の出会いの場を提供するイベントを27年度から開催している。イベントはEBRYや陶芸工房のほか、ボウリング場など市内の商業施設や体験施設を会場とし、本年度までの3年間で計5回開催し、合計で200名以上の方が参加している。

イベントを通して知り合い、成立したカップルは34組で、そのうち4組から結婚に至ったという報告をいただいていることから、一定の成果が出ているものと認識している。



**通級指導教室の設置**

**問** 障がいのある子供が通常学級で学べるよう中学校に通級指導教室を設置すべきでは。

**答** 通級による指導は、通常学級に在籍したまま、児童・生徒のニーズに応じて、障がいによる学習上または生活上の困難の改善や克服を目的とした特別な指導が受けられるという利点があり、中学校においても通級指導教室の設置は有効であると認識している。

市教委としては、教員の加配配置基準である対象生徒数10人の継続的な確保が必要なことから、改めて詳細な意向調査を行うなど希望人数の把握に努め、施設の整備や運営方法等、設置の条件について引き続き検討していきたい。

**性的少数者に係る施策**

**問** 江別市男女共同参画基本計画の中間見直しを機に、LGBT(性的少数者)への理解促進と支援等の項目を盛り込むべきでは。

**答** 性の多様性に関して、市では関連する書籍の紹介やLGBTについて解説したリーフレットを配布するなど、市民の理解度を高めるための取り組みを中心に展開してきたところである。

性の多様性やLGBTについて今後の計画にどのように盛り込み、取り組んでいくか

は、現在の社会情勢を考慮し、来年度の計画中間見直し作業では検討項目の一つとして考えているため、男女共同参画審議会での意見を伺う中で、対応していきたい。



男女共同参画のリーフレット

このほか、親子で遊べるひろば、虐待や暴力から子供を守る取り組みについて質問がありました。



**指定管理者への支援**

**問** 非公募施設の指定管理者が、自主事業に取り組みやすい支援をすべきでは。

**答** 指定管理施設での自主事業は、施設の効用発揮や利用者へのサービス向上等を目的

### 予算審査の概要

に、指定管理者が自主的に実施する事業であり、実施については指定管理者みずから判断されるものと考えている。こうしたことから、非公募施設での自主事業への支援については、指定管理者と日ごろから十分な連携を図り、地域のニーズなどに関する情報の共有に努めたい。

#### 指定管理施設の評価

**問** 改善内容が利用者にとって好ましいものは、指定管理者更新時の募集要項に盛り込んではどうか。

**答** 各指定管理施設では、指定管理者の持つノウハウや努力によりさまざまな改善がなされており、利用者アンケートなどでもおおむね良好な評価をいただいている。

こうした改善内容や利用者の評価については、定期的なモニタリング等により把握している。また、利用者にとって好ましい内容については、指定管理者の変更後も継承されることを望ましいことから、募集要項に盛り込むことは難しいが、仮に変更となった場合には、従前の指定管理者が改善した内容について、必要な情報を提供していきたい。

一般会計ほか各会計の新年度予算案と条例改正など関連する議案16件は、9名で構成された予算特別委員会に付託され、8日間にわたり審査が行われました。

本会議では、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計は賛成多数で、基本財産基金運用特別会計及び病院事業会計は全員一致で、いずれも原案のとおり可決されました。

### 主な質疑

**問** 下水道管路の更新状況は。下水道管路の老朽化に伴う費用増は全国的にも課題となっているが、機能の維持は市民生活において重要であることから、予算を平準化しながら計画的に更新していく。

安心して下水道管路を使用していたためには、管路の状況だけではなく財政状況も市民に知っていただく必要があることから、広報誌や各

種イベントでの周知のほか、現在策定中の上下水道ビジョンなども活用しながら市民周知に努めたい。

**問** 診療収益の確保策は。  
**答** 30年度には診療単価の高低外科系の医師がふえることから、応需件数の増加による収益増が見込まれる。

また、平成28年4月に導入したDPC制度の効果により、入院の診療単価が上昇傾向にあることから、引き続き医療の質を高めていくとともに診療単価等の見直しによる収益の改善を図っていきたい。

**問** 観光振興計画の推進体制は。

**答** 行政と民間事業者と市民がそれぞれ役割を担い、一体となつて地域経済の活性化を図ることで、江別らしい観光振興を実現することが重要であると考えることから、観光振興計画に示された具体的な事業を一つ一つ進める中で、体制を整えていきたい。

30年度はICTの有効活用などによる情報発信の強化に努めるほか、市民参加型のワークショップや観光フォーラムなどの開催を通して、市民の観光意識を醸成し、観光振

興の応援団や情報発信の実践者になっていただけるような取り組みを進めていきたい。



**問** ごみ処理手数料の減免者の推移と対象拡大は。

**答** 減免理由が子育てと生活保護の区分では、対象者数は増加しているが、介護と障がいとの区分では減少しており、施設入所や入院などの理由で対象外となるほか、申請漏れも考えられることから、減免の認定を受けている方に対して、翌年も申請いただくよう案内文書を送付している。

30年度からは減免対象の拡大を予定しており、新たに対象となる方に対しては、広報えべつや市のホームページに記事を掲載するほか、福祉部局と連携して周知に努めたい。

**問** 江別シティプロモーション事業におけるネットメディア向け市内PRツアーの内容は。

**答** インターネットを利用したメディアや地域限定の情報

### 議会を傍聴しませんか

議会はどこなたでも傍聴することができます。

本会議の傍聴は、本庁舎の議場の傍聴席入り口(4階)で氏名等を受付票にご記入の上、傍聴規則に従って、ご入場願います。

団体で傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局にご連絡ください。

また、各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、議会広報広聴委員会も傍聴することができますので、議会事務局へ申し出ください。

(ご連絡・お問い合わせ先) 議会事務局直通 011-381-1051

誌のライターを対象として、市内の観光スポットや名所を案内するのに合わせて、江別産の食材を使ったメニューを紹介することで、食と農の観光という江別の魅力に触れていただくことを考えている。これらを通して、江別に関する記事を書いていただくことを期待するほか、道内のライターとの関係を築くことで、今後の情報発信の際の協力につなげていきたい。

## 理事者質疑

**問** 今後の病院経営への支援と財政運営に対する市長の見解は。

**答** 市の財政は、基金からの繰入金が前年度に引き続き10億円を超えるなど非常に厳しい状況にあるが、病院事業における不良債務の状況などを考慮すると、一般会計からの支援は必要と考える。

経営改善に向けた取り組みをできるものから速やかに進めるとともに、一般会計としてどのような対応が可能なのか検討し、今後の財政のあり方をより明確にした上で、中期財政見直しを立てていきたい。

**問** 一般会計からの繰出金と不採算医療に対する市長の見解は。

**答** 市立病院の役割は、市民の医療を確保することであり、不採算であっても担わなければならぬ医療があると認識している。

一般会計からの繰出金については、毎年度、内容を検討しており、市として担うべき医療についても十分検討した上で、今後も市民にとって必要な医療を提供していきたい。



市立病院

このほか、総務文教常任委員会所管では、情報教育推進事業における教育用パソコンの導入、学生地域定着自治体連携事業の取り組みなど、生活福祉常任委員会所管では、救急業務高度化推進事業における救急搬送の状況、放課後児童クラブ待機児童対策事業など、経済建設常任委員会所管では、空家等対策計画策定事業における具体的な事業内

容、江別の顔づくり事業などに関する質疑を交わしました。

- 委員 明子 忠一 史美 一 哲 明 和子  
 委員 知子 伸 武 繁 芳 和子  
 委員 佐藤 赤坂 石田 岡村 角田 徳 三角 吉本  
 委員 宮本 齊藤 赤坂 石田 岡村 角田 徳 三角 吉本  
 委員長 副委員長

## 陳情

■趣旨採択となった陳情

◎江別市議会議員定数の削減を求めることについて

議員削減を求める会  
 代表 寺田外治氏

■不採択となった陳情

◎生活保護費をこれ以上削減しないよう国に意見書の提出を求めることについて  
 宍戸定美氏

◎肺炎球菌ワクチンを自主的に接種した人も国の制度を利用できるように国に意見書の提出を求めることについて  
 宍戸定美氏

◎PSAを健診項目に加えることについて  
 宍戸定美氏

## 議会の動き

9日	議会運営委員会
13日	議会広報広聴委員会
14日	市立病院・地域医療検討特別委員会
15日	経済建設常任委員会
20日	生活福祉常任委員会
26日	総務文教常任委員会
26日	議会運営委員会
26日	第1回定例会
27日	予算特別委員会
28日	生活福祉常任委員会
1日	経済建設常任委員会
2日	総務文教常任委員会
5日	議会運営委員会
6日	議会広報広聴委員会
8日	議会図書室運営委員会
9日	議会図書室運営委員会
12日	議会特別委員会
14日	議会特別委員会
19日	議会特別委員会
23日	議会特別委員会
16日	議会特別委員会
20日	議会特別委員会
23日	議会特別委員会
25日	議会特別委員会
26日	議会特別委員会

## 次期定例会の予定

第2回定例会  
 6月12日～6月26日  
 委員会  
 6月13日～18日  
 一般質問  
 6月20日～22日

## 編集後記

議会は、市長から提出された議案の可否を判断する行政監視機能とともに、市民の代表として地域の声を届け、行政サービスの向上に結びつける政策立案機能を担っています。

しかしながら、議会が何をやっているのかからなといった声を耳にします。こうした声にしっかりと応えていくため、わかりやすい誌面づくりや情報発信に努めてまいります。

今号では、新たな試みとして、昨年実施した各常任委員会の道外先進地調査の様子を表紙写真として掲載いたしました。

議会広報広聴委員会は、これまで非公開で開催されてきましたが、4月からは公開で開催することになりました。どなたでも傍聴できますので、皆様のお越しをお待ちしております。